

専門試験 問題出題例

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

<注意事項>

- ・試験に出題される専門分野は、募集要項の「3 求める人材」をご確認ください。
- ・ここに例示されている問題は、一例です。掲載されていない出題形式の問題も試験問題として出題されます。
- ・出題例の内容に関する問い合わせにはお答えできません。

【出題例その1】

[No. ●] 次の1～12の中から4つを選択し、解答欄に選択した番号を記入の上、それぞれ100字以内で簡潔に説明しなさい。

1. 輪作
2. 準同質遺伝子系統
3. 集団選抜法
4. NPBT (New Plant Breeding Techniques)
5. 自発休眠
6. バンカープランツ
7. 成長点培養
8. MA包装フィルム
9. コドラート法
10. フェストロリウム
11. サイレージ
12. TDN

【出題例その2】

[No. ●] 次の1～4の中から2つを選択し、解答欄に選択した番号を記入の上、それぞれ200字以内で説明しなさい。

1. パラメトリック方式を用いた音波探査の原理とその利点について
2. 反射法地震探査や音波探査の共通反射点重合 (CDP 重合) とその効用について
3. VSP (Vertical Seismic Profiling) とその効用について
4. 活火山で観測される地殻変動の主な圧力源モデルについて

【出題例その3】

[No. ●] 次の1～6の中から2つを選択し、解答欄に選択した番号を記入の上、それぞれ500字以内で答えなさい。

1. 北海道日本海南西部における磯焼けの発生原因と持続要因について説明し、その対応策と問題点などに関して述べなさい。
2. 北海道におけるホタテガイ生産について説明しなさい。
3. 地球温暖化による水産資源への様々な影響が懸念されているが、*Oncorhynchus keta*の資源変動や回遊にどのような影響があると考えられるか述べなさい。
4. 漁業は大きく漁獲漁業と養殖に分けられる。水産物の供給を考える際、漁獲漁業と養殖のそれぞれのメリットとデメリットについて述べなさい。
5. 漁業生産の大部分は野生集団に依存しており、それらの遺伝的保全是重要な課題である。放流用人工種苗の遺伝的管理に関し、その問題点と対策・配慮について述べなさい。
6. 近年、太平洋クロマグロの資源減少が問題となっている。この資源の減少要因と、現在実施されている対策の内容、またその問題点と考えられることについて、下記のキーワードをすべて入れて述べなさい。

(キーワード：未成魚，歴史的中間値，WCPFC あるいは中西部太平洋マグロ類委員会，半減，大中型まき網漁業，ブロック)